

様式第10号(第6条関係)



平成31年 4月 12日

南相馬市議会議長

会派名 日本共産党議員団

代表者名 団長 渡部 寛一



平成30年度政務活動費収支報告書

南相馬市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、別紙のとおり、平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

平成30年度政務活動費収支報告書

会派名 日本共産党議員団

1 収入

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
政 務 活 動 費	120,000	
預 金 利 子	0	
会 派 負 担 金	34,981	
合 計	154,981	

2 支出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調査研究費		
研修費		
広報費	154,981	市議会報告書新聞折り込み
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合 計	154,981	

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。
2 会計帳簿の写し及び領収書等の証拠書類の写しを添付すること。

3 残金 0円

領収書等添付用紙

(単位:円)

<p>支出項目</p>	<p> <input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成・購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報・公聴費 <input type="checkbox"/> 人件費・事務所費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 </p>
<p>支出内容</p>	<p>議会報告第38号折込料(6件)</p>
<p>支出月日</p>	<p>平成31年1月22日、28日</p>
<p>支出額</p>	<p>52,981円</p>
<p style="text-align: center;">別紙 領収書 No. 1~6 のとおり</p>	

No. 1

領 収 証

No. _____

日本共産党南相馬市議団 様

31 年 1 月 22 日

★ ¥ 648 -

但 折込料 200枚(市議会報告)

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

福島県双葉郡浪江町大字権現堂字反町7
有限会社 鈴木新聞舗
代表取締役 鈴木 裕次郎
TEL0240-35-2032 FAX0240-34-4510



コクヨ ウケ-78

No. 2

領 収 証

日本共産党 南相馬市議団 様 31 年 1 月 22 日

領 収 金 額 ¥ 2,457 -

収 入
印 紙

市議会報告

上記の金額正に領収いたしました

内 訳	品 目	数 量	単 価	金 額
<input checked="" type="checkbox"/>	チラシ折込料	700	3.25	2,275
<input type="checkbox"/>	新聞購読料			
	消 費 税			182

係 印

毎日新聞・福島民報・スポニチ・日本経済新聞・産経新聞・サンスポ・河北新報

(株) 浪江新聞販売センター

(株) 浪江新聞販売センター小高店

代表取締役 林

富士



〒979-1521 福島県双葉郡浪江町大字権現堂字上鏡町11の3
TEL (0240) 25-8580 FAX (0240) 25-8581

〒979-2111 福島県南相馬市小高区仲町1丁目115
TEL (0244) 32-0323 FAX (0244) 32-0132

No. 3

日本共産党 領 収 証

No. _____

南相馬市議団様 31年 / 1月 28日

★ 723328-

但予三折込料として
上記正に領収いたしました

〒975-0004
福島県南相馬市原町区旭町三丁目30番地
有限会社 藤原新聞店
代表取締役 藤原広幸
TEL (0244) 22-2515
FAX (0244) 22-2550

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

GR1216

No. 4

領 収 証

日本共産党南相馬市議団様

No. _____

★

¥ 8,748,-

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

但予三折込料 税込

31年 / 1月 28日 上記正に領収いたしました

収入印紙

原町南郷サービスセンター
TEL 23-3550

コクヨ ウケ-98

No. 5

領 収 証 日本共産党南相馬市議団様

No. 30

金額

18100-

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

但折込料として(1/9月 2300枚)

31年 / 1月 28日 上記正に領収いたしました

収入印紙

有限会社 石倉新聞店
代表取締役 石倉 子
〒975-0008 福島県南相馬市原町区本町41番地
TEL 0244-241-3209
FAX 0244-241-3578

コクヨ ウケ-92

No.6

領 収 証

日本共産党南相馬市議団

様

No. _____

★

¥ 9,700-

内 訳	300枚
現 金	
小切手	/
手 形	/
消費税額等(%)	

但 1/27 折込代金にて

2019年 1月28日 上記正に領収いたしました

取入印紙

〒979-2335
 福島県南相馬市鹿島区鹿島字町121
 有限会社 鹿島新聞販売センター
 TEL0244-46-1136 FAX0244-46-2025

領収書等添付用紙

(単位: 円)

<p>支出項目</p>	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 資料作成・購入費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報・公聴費 <input type="checkbox"/> 人件費・事務所費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
<p>支出内容</p>	<p>議会報告第38号印刷代</p>
<p>支出月日</p>	<p>平成31年2月26日</p>
<p>支出額</p>	<p>102,000円</p>

領 収 証

日本共産党南相馬市議員 様 No.

★ ¥ 102,000 -

内 訳 _____

現金 _____

小切手 _____ /

手 形 _____ /

消費税額等 (%) _____

但 2018年12月議会報告印刷
 2019年 2月 26日 上記正に領収いたしました

南相馬共同印刷



日本共産党 市議会報告

第38号

2019年
1月27日 発行
日本共産党
南相馬市議団
渡部 寛 一
090-2993-1471
栗村 文 夫
090-8851-6904

12月補正予算 35億2千万円を追加

12月定例議会に提案されたのは、議案54件(条例関係11件、予算関係22件、人事案件10件、その他11件)、報告1件、陳情1件。また、委員会提出議案2件、議員提出議案1件がありました。全議案が全会一致で可決。また、陳情は不採択となりました。

一般会計補正予算では、補正額35億2千121万円を追加し、歳入歳出総額は647億4千614万円になりました。

主な補正予算は

- ・ 基礎技術産業育成支援助成金 720万円
- ・ 工作機械等の購入、技術育成に対し補助
- ・ 避難所看板等整備事業 418万円
- ・ 津波注意喚起標識、津波避難誘導標識の整備に向けた実施設計。
- ・ 社会資本整備総合交付金 1千300万円
- ・ 道路の新設、拡幅等を実施。
- ・ 農業水利施設等保全再生 3億5千325万円
- ・ ため池内の土砂等の拡散を防止する工事。
- ・ 集施設整備事業補助金 275万円
- ・ 駐車場整備、進入口舗装、備品整備。
- ・ 災害公営住宅関連交通安全対策 250万円
- ・ 歩道設置に向けて測量設計を実施。
- ・ 小高区認定こども園整備 2億2千249万円
- ・ 建設工事を前倒しで実施。
- ・ 産業振興・企業誘致促進 1千569万円
- ・ 小高中央工業団地の案内看板を設置。
- ・ 埋設有害鳥獣処理事業 2千991万円
- ・ 仮埋設中の有害鳥獣を掘り起し、焼却処理を実施。
- ・ パークゴルフ場トイレ増設 1千941万円
- ・ 利便性を向上させるためトイレ棟を増設。

主な条例は

- ◎ 南相馬市長の選挙における選挙運動ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例
- ◎ 公職選挙法の改正に伴い、市議会議員の選挙運動用ビラの作成の公営について定めるため
- ◎ 南相馬市立病院看護職員の平成30年度特殊勤務手当の特例に関する条例
- ◎ 福島県浜通り地方看護体制強化支援事業補助金を活用し、看護職員の特殊勤務手当を支給するため
- ◎ 南相馬市有害鳥獣焼却施設の設置及び管理に関する条例
- ◎ 有害鳥獣焼却施設(原町区小沢字小沢152番地)の設置及び管理に関する事項を定めるもの
- ◎ 南相馬市農業農村活性化施設条例を廃止する条例
- ◎ 南相馬市障がい者の利用に係る公の施設の使用料又は利用料金の免除に関する条例の一部改正(ハートランドはらまちを削除)
- ◎ 南相馬市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◎ 平成30年福島県人事委員会勧告に準じて、給与改定を行うため



栗村文夫



渡部寛一

不採択となった陳情は

環境省による「除去土壌の再生利用実証事業」の協力要請を認可しないことを求める陳情書
平成30年8月27日に南相馬市長に環境省から協力要請があった「除去土壌の再生利用実証事業」は、汚染土壌を盛土材として道路の下に埋めるという計画です。〔中略〕この実証事業は、「汚染土壌は、全て中間貯蔵施設に運び、30年後には国の責任において県外で最終処分する」「中間貯蔵施設ができるまでの間、汚染土壌を仮置場に置くのは3年、中間貯蔵施設に搬出するのに2年を要するので、南相馬市に置いておくのは5年以内」との国の約束を破り、南相馬市を最終処分場とするものです。多くの市民から不安の声が上がっています。よって、「除去土壌の再生利用実証事業」の協力要請を認可しないことを求め、陳情します。

議会人事

市議会議員の改選に伴い、議長・副議長選挙が行われ、議長には友和会の今村裕氏、副議長には尚友会の山田雅彦氏が選出されました。

所属委員会は

また、常任委員会(総務・文教福祉・建設経済、特別委員会(広報・議会改革検討・新庁舎建設、議会運営委員会の各人事も決定しました。任期は、申し合わせにより2年間となっており、今後2年間は、この体制で運営されます。

渡部寛一は、文教福祉常任委員会、議会運営委員会、議会改革検討特別委員会に所属することになりました。

栗村文夫は、総務常任委員会、新庁舎建設特別委員会に所属することになりました。また、「東日本大震災・原子力災害復旧復興調査特別委員会」は、正副議長を除く議員全員で構成されます。

よろしくお願いします

11月18日投票での市議会議員選挙の投票率は59%(小高区51.7%、原町区55%、鹿島区61%)で、8年前の72%、4年前の59%をさらに下回るものでした。

渡部寛一は138票で8位、栗村文夫は104票で14位で当選することができました。

これからも、原発ゼロは勿論のこと、市民一人ひとりが大切され、いのちと暮らしを優先する市政の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

みなさまのご支援、ご協力をよろしく願っています。

12月議会報告

